

新聞名/掲載日

南日本新聞/2019年(平成31年)1月7日 月曜日

14面 地域総合

キャプション: 契約額、就業人数の伸び全国1位
需要開拓と会員増奏功

契約額、就業人数の伸び 全国1位 需要開拓と会員増奏功



施設申請

派遣先の施設で受付業務に当たる鹿児島市シルバー人材センターの女性会員
—鹿児島市郡山町

市シルバー人材センター

鹿児島市シルバー人材センターの2015〜17年度の契約金額(売上高に相当)の増加額と就業延べ人数(人数×日数)の増加数は、いずれも全国約1300団体で1位だった。会員増加数も2位。女性を中心とした会員獲得などで需要の掘り起こしにつながったことが奏功したとみられる。

全国シルバー人材センター事業協会の協力を得て、専門誌が対15年度比較をまとめた。一時的要因の影響を受けやすい単年度でなく、平均的傾向が分かるとして16、17の2カ年度分を対象とした。市のセンターの業務は受託(請負・委任)は受託(請負・委任)額を合わせた契約金額は過去最高の12億6552万円で、15年度比3億2251万円

ズーム
鹿児島市シルバー人材センター
1981(昭和56)年10月設立の公益社団法人。2018年3月末現在、会員3241人。平均年齢71.2歳。管理、

就業延べ人数は28万5040人で、同7万3796人(34.9%)の増だった。伸びの大きな要因は、人手不足を背景にした派遣の成長にある。小売りや介護関連、調理補助を中心に17年度約3億6300万円と15年度の3.3倍に拡大。会員に営業経験者を雇い、企業や福祉施設、学校などに攻勢を掛ける。

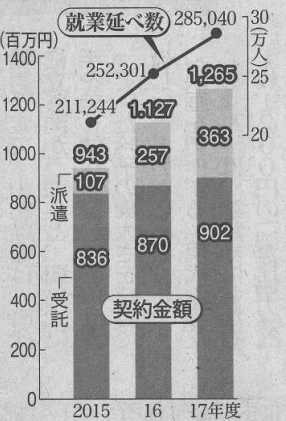
派遣先、延べ2万6425件を受注した。受託、派遣を合わせた契約金額は過去最高の12億6552万円で、15年度比3億2251万円

(34.2%)増えた。就業延べ人数は28万5040人で、同7万3796人(34.9%)の増だった。伸びの大きな要因は、人手不足を背景にした派遣の成長にある。小売りや介護関連、調理補助を中心に17年度約3億6300万円と15年度の3.3倍に拡大。会員に営業経験者を雇い、企業や福祉施設、学校などに攻勢を掛ける。

サービスマン、技能、軽作業、事務、折衝・外交の6分野で、清掃や販売補助の業務があり、市から温泉センターなど3件の指定管理を受けている。天保山町に本部、吉田、桜島、喜入、松元、郡山の旧5町域に支部を置く。

中でも約3割にとどまっていた女性会員の獲得に力を入れた。時間と体力に余裕がある60代をターゲットに、美容講座やファッショ

性855人。会員のつながりを生かした勧誘のほか、ハローワークかごしまに相談窓口を設置するなどした。



鹿児島市シルバー人材センターの契約金額と就業延べ数